

2.「大学と保護者との連絡会」への援助

地区会場費へ援助

全体総括

- 開催期間 平成25年9月7日～10月19日
- 開催地 全国20会場
- 参加者
 - 保護者合計 学部1,671世帯(2,242名) 大学院2世帯(2名)
 - 全国各地区会場 学部 369世帯(520名) 大学院1世帯(1名)(17会場)
 - 東京・横浜会場 学部1,302世帯(1,722名) 大学院1世帯(1名)(3会場)
 - 教職員 36名(全国各地区への派遣者数)

4. 今年度の結果と特徴

- 学部全体の出席者(世帯)数は1,671世帯と前年比1.21%増で「大学と保護者との連絡会」を実施してから最も多い出席者となった。在籍者数に対する出席率は22.6%と昨年と同率であった。学年別では、1年生の保護者の方が多く620世帯で3.5%増、2年生が426世帯で6.8%増、3年生が430世帯で3.1%減、4年生が196世帯で6.6%減であった。
- 大会会場は、各キャンパスとも大勢の保護者の方に出席していただき、世田谷キャンパスでは、前年比1.0%増の840世帯、横浜キャンパスでは、前年比6.0%増の318世帯、等々力キャンパスでは、前年比16.7%減の145世帯の出席者となった。
- 地区会場については、昨年と同じ17会場を設定・実施した。首都圏以外の出身の在学生在が年々減少している中、今年の出席者(世帯)数は前年より6.6%増の370世帯となった。
- 保護者との懇談では、景気が若干回復傾向にあるもののリターンを含む就職関係の話題が一番関心を持たれたようであった。次に大学院進学、成績に関することが各会場での話題となり、個別相談も多数あった。
- 地区会場では、地区担当の理事・評議員の方々に会の運営等に協力をしていただいた。また、今年度も本学同窓会である東京都市大学校友会の地方支部の役員に出席願ひ、各地区における卒業生の就職状況や活躍状況を説明していただいた。
- 地区会場の声として、大学の現状や成績・学生生活・就職等の報告がなされたことについて好評であった。

詳細については、後援会誌TCU-COM49号(26年1月刊行)をご覧ください。



高崎会場

大会会場 学科別出席数(世帯数)

学科	平成25年度	平成24年度	学科	平成25年度	平成24年度
機械工学科	100	107	自然科学科	34	32
機械システム工学科	98	93	環境情報学科	98	131
原子力安全工学科	40	44	情報メディア学科	97	169
医用(生体医)工学科	54	46	環境創生学科	27	—
電気電子工学科	65	95	環境マネジメント学科	48	—
エネルギー化学科	60	66	社会メディア学科	23	—
建築学科	115	94	情報システム学科	25	—
都市工学科	80	65	都市生活学科	105	117
情報科学科	97	82	児童学科	40	57
情報通信(ネットワーク)工学科	35	47	大学院	1	3
経営システム工学科	61	61	合計	1,303	1,309

3.大学行事への協力援助

大学行事名	援助対象	金額(円)
1 体育祭(5月15日～16日)	体育会	160,000
2 横浜祭(6月1日～2日)	横浜祭実行委員会	1,400,000
3 等々力祭(11月23日～24日)	等々力祭実行委員会	1,100,000
4 世田谷祭(11月23日～24日)	世田谷祭実行委員会	800,000
合計		3,460,000

4.学生厚生援助

	金額(円)
1 世田谷キャンパス屋外用テーブルチェア(13セット)	1,872,150
合計	1,872,150

5.会誌の発行

会誌号	金額(円)
1 TCU-COM 48号を刊行(8月中旬全会員へ送付)	1,533,000
2 TCU-COM 49号を刊行(1月下旬全会員へ送付)	2,415,000
合計	3,948,000



<5> 会誌(TCU-COM)の発行

過去5年間の在学生クラブ加入率

